

1 嘘つき死神少女と過ごす最後の五日間〜君の魂もらいに来たの〜台本

3 (■トラック 1)

5 ■BGM:怖〜BGMフェードイン

6 ■環境音:公園 外

7 ■効果音:砂場で遊んでる音

8 ■効果音:翼のバサバサ音

9 ■効果音:地面へ着地音

10 ▼演技指示:次の台詞、無理して怖くみせる

11 ▼位置:前【中距離】

13 ≪セフィ≫

14 ……初めまして。私はセフィ、君の魂を貰いにきた死神よ。

15 さあ、覚悟して、私に君の魂を差し出しなさい。

17 ■主人公:ん？

19 と、突然のことで驚いたよね。でもこれが仕事だから、あ、諦めて魂を差し出して。

21 ■主人公:よくわかんないけど、おだんごどうぞ。

22 ■編集さんへ:このあたりからBGMの音量と品質を下げてください。

24 ……え？ おだんごくれるの〜わーおいしそ〜いただきま〜す——じゃないよ！

25 しかもこれ泥だんご、食べれないし！

27 私、死神だよ？死神！マイネームーイズ死神、デスゴッド。わかる？

28 もっとうわーとか、どひゃーって驚いてよ！

30 ■主人公:これもあげる

32 ……え？ これもくれるの？

34 どひゃー……っ！これミミズじゃん。なんでそんなもの持ってるの？
35 趣味悪いよ〜。

36
37
38 ■主人公:ごめんなさい

39 ……あ、そんな真剣に謝らなくても……。うん、私は君より年上だからね。
40 お姉さんだから、許してあげる。ありがたく思っ

41
42 ■主人公:ありがとう

43
44 よいしょっ

45
46 ■効果音:セフィがしゃがむ音

47 ■効果音:ラジカセの電源を切る音

48 ■効果音:セフィが立ち上がる音

49
50 せっかく怖いBGMを用意したのに、台無しだよ。しょぼん。

51
52 そ、それで、君は独りで何をしてるの？

53
54 ■主人公:一人で遊んでるの

55
56 ……そっか、わ、私もよく独りで遊んでるよ。同じだね、ちよっと親近感？
57 っと、そんな話はいいの。本題に戻らないと、閑話休題だね。

58
59 改めてだけど、君の魂を頂戴。

60
61 ■主人公:なんで

62
63 ……なんでって、うう、純粹無垢な瞳が痛い。チクチクする。
64 でも、魂は貰わないといけないからね、ほだされないよ、うん。

65
66 私、死神だから人間の魂をもらうのが仕事なの。

67
68 ■主人公:魂をもらって何するの？

69
70 ……え？ 魂をもらったらどうするかって？

71 えとえと、魂をもらったら、うーん、食べちゃう、とか？

72
73 ■主人公：美味しいの？

74
75 ……たぶん、美味しいと思う。食べたことないけど

76
77 ■主人公：変なの

78
79 ……へ、変なのとかいわないで、哀しくなっちゃうでしょ。しくしく。

80
81 ■主人公：元氣出して

82
83 心が涙で濡れて元氣が出ないよ。およよ。

84
85 ■主人公：それじゃお姉ちゃんも一緒に遊ぶ？

86
87 ……いやいや、お姉さん死神だから、一緒に遊ぶとかほら死神のいげん？ に関わるし。

88
89 ■主人公：セフィを見つめる

90
91 う、また純粋な視線が私を突き刺すよ。凄くキラキラして死神には眩しい。

92
93 ……わ、わかったよ。別に期限を決められてるわけじゃないからね。

94
95 す、少しくらいなら付き合ってあげる。優しいお姉さんに感謝するように。

96
97 でも砂場でおまごみたいなのは、ちょっと子供っぽいので遠慮したいかな。

98
99 また泥だんごとか渡されても困るし。

100 ▼演技指示：あたりを見回しています。首を左右に振りながら台詞をお願いします。

101
102 え〜っつと〜。

103
104 あ、それじゃ、ぶ、ブランコとか一緒にこぐ？ 二人で遊べそうだしね、うん。

105
106 ■主人公：うん！

107
……なんだかブランコも子供っぽい気がするけど、まあ喜んでるならいいのかな？

108	
109	■効果音:セフィの手を取る音
110	
111	▼位置:後ろ【中距離】
112	
113	……わっ、わっ、あ、ちょっと手え引つ張らないで〜
114	■効果音:主人公（子供） [※] セフィ移動音
115	
116	君、凄く元気だね。パッシブ系の死神さんには少し眩しいよお。
117	
118	■効果音:主人公だけがブランコに向かう足音
119	■効果音:主人公がブランコに乗る音
120	■効果音:主人公がブランコをこぐ音
121	■主人公:セフィちゃん早く
122	▼位置:前【遠く】
123	
124	わ、わかった、今行くから。あまり大きな声で呼ばないで。恥ずかしい。
125	
126	■効果音:セフィがブランコに向かう音
127	
128	えっと、ここに乘ればいいんだよね。
129	
130	■効果音:セフィ 移動音
131	■効果音:セフィがブランコに乗る音
132	■状況:右隣りに主人公がブランコに乗っています。
133	▼位置:左耳側に立つ【中距離】正面を向いて※ブランコに乗って前を見えます
134	
135	……と……ブランコ乗るの初めて……。
136	
137	▼位置:左耳【中距離】※主人公の方を向いています
138	
139	ね、ねえ。これってどうやればいいの？
140	
141	■主人公:やってみせるから見てて
142	
143	……うん？やってくれるの？そ、それじゃお願いしよっかな？

144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179

■効果音：主人公が隣でブランコをこぐ音

……ん、なんとなくわかったかも？
えっと、たぶんブランコが前に上がったときに、足を伸ばして、
後ろに下がったら足を曲げればいいんだよね。

や、やってみよう。

■効果音：セフィがブランコをこぐ音

▼位置：左耳側に立つ【中距離】正面を向いて

わ、わ……こ、これで大丈夫かな？で、できてる？

■主人公：ばっちし

……でも、ちょっと怖いかも。翼で飛ぶのとは、かつてが違う。

■主人公：楽しいよ

■編集さんへ：少しの間ブランコの音

▼位置：左耳【中距離】

ね、ねえ。これどうやって止めればいいの？
なんかずっと止まらないんだけど……。

■主人公：見えて

■効果音：主人公がブランコを止める音

……え、それ足痛くないの？

■主人公：大丈夫だよ

……じゃ、頑張ってみる。

■効果音：セフィが足でブランコを止める音

▼位置：左耳側に立つ【中距離】正面を向いて

180
181 ……と、止まった。

182
183 ■効果音：主事項が振り向く音

184 ■主人公：楽しかった？

185 ▼位置：前【中距離】

186
187 ……うーん、楽しかったのかな？ たぶん？

188
189 ■主人公：それじゃまた今度一緒にブランコのろうね

190
191 ……あ、いや、だから、私は魂を貰いに來たの、一緒にブランコのるためじゃなくてね。
192 うーん、困ったな、あまり私の話、信用してもらえてないのかな？
193

194 ま、まあ時間はまだあるし、
195 ゆっくりじっくりことごと煮込むように説得をしていけばいいかな？
196

197 ■主人公：どうしたの？

198
199 ……あ、うーん、なんでもない。

200
201 ブランコをまた乗るかはわからないけど、また会いにくるから、
202 その時には魂ちょうだいね。や、約束できる？
203

204 ■主人公：よくわかなんけど、わかったよ

205
206 あゝ、これはすごく良くわかってない顔だあ。前途多難だなあ。
207

208 ■主人公：僕もう帰るね、一緒に遊んでくれてありがとう

209
210 ……あ、もう帰るの。そっか、じゃあ気を付けて帰るんだよ。
211 し、知らない人に付いていっちゃダメだからね。
212

213 ■主人公：わかった

214 ■効果音：主人公がブランコから降りる音

215 ■効果音：セフィの正面来る足音

216	
217	それじゃ、ばいばい。
218	
219	■ 主人公：ばいばい
220	■ 効果音：主人公が帰る音
221	▼ 位置：前【遠距離】
222	
223	これでホントに魂もらえるのかなあ〜〜！
224	

225 (■トラック 2)

226

227 ■効果音:翼の音

228 ■効果音:着地する音(公園)

229 ▼位置:前【中距離】

230

231 ≪セフィ≫

232 ま、また逢ったね、今日こそ魂を——え?

233

234 ■効果音:主人公(少年)が前から走って向かってくる音

235 ■主人公:死神のおねえちゃん

236

237 わわっ——。

238

239 ■効果音:セフィが避ける音

240 ■効果音:主人公が地面にヘッドスライディングする音

241 ■効果音:セフィが振り向く音

242 ▼位置:前【遠距離】

243

244 ひ、びっくりした。急に抱き付いてこないでよ。

245

246 ■効果音:主人公が立ち上がる音

247 ■主人公:また逢ったね!

248 ▼位置:前【中距離】

249

250 う、うん。そりやまだ魂もらってないからね、会いに来るよ。

251 わ、私に会えてそんなに嬉しいの?

252

253 ■主人公:うん!

254

255 キラキラしたお目目やめて! 陰キヤ死神にそれは効く。

256

257 ■主人公:それで今日は何しに来たの?

258

259 ……そ、そうだった。本題を忘れるところだった。

260 こほん、今日こそ魂をもらいにきたの、観念して魂をちょうだい。

261 ■効果音：手を掴む音

262 ■主人公：よくわかんないから遊ぼう！

263 ▼位置：後ろ・やや左【中距離】

264
265 わ、また、手……。だから引っ張らないで……。
266

267 ■効果音：移動音×2

268
269 もう、だ、ダメなんだよ？ 女の子の手を急に握ったりしちゃ。

270 驚いちゃうからね。君も男の子ならちゃんとれでいっの扱いを心得ないと。

271
272 ■主人公：難しい事はわからないけど、わかった
273

274 ……うん、あまりわかってない顔してるね。まあ、いいや。

275 これシーソーだね？ 見たことある、というか前に来た時もあったもんね。

276
277 なあに？ きよ、今日はこれで遊びたいの？
278

279 ■主人公：うん！
280

281 うう、健気なまなざしに弱い死神です。純粹無垢な瞳は死神には凶器だよお。

282
283 でもでも、せっかく魂をもらうなら楽しんでもらった方がいいよね。

284 その方が上質な魂になるはず、うん、知らないけど。
285

286 ■主人公：また独り言言ってる。
287

288 ……ひ、独り言じゃないよ。自問自答ってやつわかる？
289
290 じもんじと。

291 ■主人公：わかんない
292

293 ……そっかぁ〜わからないかぁ。
294

295 と、とにかくシーソーで遊べばいいんだよね。

296 うん、お姉ちゃんが付き合ってあげよう。

297 ▼演技指示：独り言
298
299 こ、これに必要なこと、だから。あと死神の威厳も保たなきゃ。
300
301 ■効果音：移動音（主人公）
302 ■効果音：主人公がシーソーにのる音
303 ▼位置：前【遠距離】
304
305 わ、いつのまにシーソーに。
306
307 ■主人公：早くはやく〜う。
308
309 わ、わかったから大きな声出さないで。なんだか恥ずかしいよ。
310
311 ■効果音：セフィ移動音
312
313 これに乗るんだよね。な、なんだか高くない？だ、大丈夫かな。
314
315 ■効果音：シーソーに乗る音
316
317 んしよつと……あ、ちよつと乗れないかも、
318 う〜ん、う〜んっ！つと、
319
320 乗れた！わわ、足つかない。
321
322 ■主人公：行くよ
323
324 ……え？行くって、なにい！？
325
326 ■効果音：シーソーが下がる
327
328 って、わ〜っ。
329
330 ■効果音：シーソーが上がる
331
332 うっひゃ〜っ！

333 ■効果音:シーソーが下がる
334
335 どびや~~~~っ！
336
337 ■効果音:シーソーが上がる
338
339 ちょ、ちよっと、止まって。なんか、これ怖い！
340
341 ■効果音:シーソー停止
342
343 はぁ、はぁ……こ、これホントに楽しいの？
344
345 ■主人公:楽しいよ
346
347 正気の沙汰じゃないね。人間でこーゆーのが好きなの。
348 げ、げに恐ろしや、だ。げにげに。
349
350 ■主人公:でも死神のお姉ちゃんも飛べるでしょ
351
352 ……そ、そりゃあ私はお空を飛べるけど、これとそれとは話が違うよ。
353 自分で制御できないからこそ怖いの、わかる？
354
355 ■主人公:わかんない！
356
357 わかんないかぁ。う、う~~~~ん。
358
359 ■主人公:もう一回やろ！
360
361 ……え？ 待って！ もう一回って——。
362
363 ■効果音:シーソーが下がる音
364
365 ——どひゃ——っ！ 怖い怖い怖い！
366
367
368

369 ■効果音:シーソーが上がる音
370
371 ~~~~~
372
373 ■効果音:シーソーが下がる音
374
375 あ〜た〜ま〜が〜ぐわん〜ぐわん〜する~~~~~!
376
377 ■効果音:シーソーがあがる音
378
379 うにや~~~~~っ!
380
381 ■効果音:少しの間シーソー音
382 ■効果音:シーソーが止まる音
383
384はあはあはあはあ。
385
386 ■効果音:楽しかった
387
388 なんて満面の笑み……。天使みたい……。
389 死神の天敵じゃん、もう!
390
391 ■主人公:今日も遊んでくれてありがとうね
392
393 あ、遊びにきたわけじゃないよ!?
394
395 で、でも、満足したなら、た、魂をちょうだい——。
396 う、ダメ、きもちわるい……。
397
398 きよ、今日のところはこれで勘弁しといてあげる。
399 つ、次こそは魂をもらうから、ね。
400
401 ■効果音:わかった
402
403返事だけはいいんだから。そ、それじゃ。ばいばい。
404

405	■ 効果音:翼の音
406	▼位置:前【遠距離】
407	
408	も~~~~っ！なんでこーなるのかなあ！！

409 (■トラック3)

410

■環境音：公園

411

■効果音：翼の音

412

■効果音：着地する音（公園）

413

▼位置：前【遠距離】

414

415

《セフィ》

416

きよ、今日こそ魂をもらいにきたよ――。

417

あつ、また抱き付か――れない？

418

419

■主人公：……

420

■効果音：駆け寄る音

421

▼位置：前【中距離】

422

423

ど、どうしたの？ 元氣ないみたいだけど？ 前みたいに抱き付いてこないの？
あ、いや、だ、抱き付いてほしいわけじゃないよ、うん。

424

425

426

……もしかして泣いてる？

427

428

■主人公：泣いてないもん

429

430

……そっか。うん、そうだね。泣いてないよね。

431

432

▼演技指示：少し困ってる

433

434

……………。

435

436

……そ、それじゃ今日はお話とかする？

437

私もブランコとかシーソーの気分じゃないから、

438

よかったらお話に付き合ってくれると嬉しいな。

439

440

■主人公：いいよ

441

442

え、ええつとお……あつちのベンチに行こっか？ ここだと少し寒いからね。

443

444

445 ■効果音：手を繋ぐ音
446 ■効果音：足音×2
447 ■効果音：ベンチに腰掛ける音×2
448 ▼位置：左耳【中距離】正面を向いて
449
450 よいしょつと。
451
452 ■効果音：主人公の方を向く音
453 ▼位置：前【中距離】
454
455 ……泣き止んだかな？
456
457 ■主人公：泣いてないってば
458
459 ……そ、そうだったね、うん。泣いてなかったね、ごめんごめん。
460 私が間違ってたよ。
461
462 でも今日はどうして元気がないの？嫌な事とかあった？
463
464 ■主人公：お母さんのこと思い出して
465
466 ……そ、そっかあ。寂しくなちゃったの？
467
468 ■効果音：少し間
469 ▼演技指示：台詞、独り言
470
471 うーん、困ってる人をないがしろにするのは心が痛むなあ、
472 でも私ができることなんて、全然ないし、うーん、うーん。
473
474 ……あっ！でも、これ少し恥ずかしいような、でもでも、
475 あゝ、また泣き出しそう。
476
477 わ、私も腹をくくるしかない。
478
479 え、えいっ！
480

481 ■効果音:抱き付く音

482 ※マイクの高さ変更箇所※ マイクを下にお願いします。

483 ■状況:セフィが主人公を抱きしめています。

484 ▼位置:前【近距離】マイクが胸あたりくらいの距離。

485

486 さ、寂しい時はこーして抱きしめると落ち着くみたい、だよ？

487

488 ううやっぱり自分から抱き付くのは恥ずかしい。

489

490 き、君、前に私に抱きつこうとしてたでしょ？

491 だから抱き付かれるのも、す、好きだよね？

492

493 わ、私、君が、お、落ち込んでる時にどーしていいか、わ、わからないから、

494 こんなこと、しかできないけど、嫌じゃないかな？

495

496 ■主人公:泣き出す

497

498 ……あ、また泣いて、あ、えっと、これ違ったかな？

499 間違えっちゃったかな？ だ、抱き付くのやめた方がいい？

500

501 ■主人公:嫌

502

503 ……嫌なの？抱き付くのが？抱き付くのをやめるのが？

504 ど、どっち？

505

506 ■主人公:このままがいい

507

508 ……このままかあ。うん、わかった。い、いいよ。

509 それなら少しの間こーする？

510

511 ■主人公:うん

512

513 ……わ、わかった。

514

515 ■主人公:もつとぎゅってして

516

517 ……ええ、もつとぎゅつとするのは、そ、それはちょっと恥ずかしいような？
518

519 ■主人公：泣きだしそう
520

521 そ、そんなに強くぎゅつてしてほしいの？
522

523 ▼演技指示：独り言
524

525 魂をもらうにしても悲しんだままじゃ可哀そうだし、
526

527 ここは私が一肌脱ぐしかないね。うん。そーいうことにしないと恥ずかしくて
528 私の魂が奪われかねない。

529 じゃ、じゃあ、今より強くぎゅつてしてあげる、ね。
530

531 すう～はあ、すう～はあ。
532

533 い、いくよ。ぎゅ～～～～つ。
534

535 ■効果音：抱き付く音
536

537 (吐息・5秒)
538

539 こ、これでいい？
540

541 ■主人公：うん
542

543 じゃ、じゃあ少しこのままでいよっか？
544

545 わ、私慰めるのとか得意じゃないからね。うん。
546

547 (吐息・10秒×2パターンください)
548

549 ど、どう？ 少し落ち着いたかな？
550

551 ■主人公：もうちよつと
552

553 ……今日は甘えん坊さんなんだね。
554

553 あ、あのね。私もよく泣きたくなる時があるんだけど、
554 そー言う時はいっぱい泣くの。

555 涙がなくなっちゃうまで、わんわん泣く。
556 寂しい気持ちも、哀しい気持ちも、全部はなくならないけど、
557 泣き終わったあと、す、少しだけすっきりするんだ。
558

559
560 だ、だから今、いっぱい泣いていいからね。
561 わ、私、お姉さんだから、君のこと、甘やかしてあげる。うん。
562
563 ど、どんとい。

564
565 ■主人公：泣く
566

567 よし、よし。よしよし。

568
569 ■効果音：背中をぼんぼんする音
570

571 (吐息・10秒)
572

573 大変だったね。辛かったね、哀しかったね。寂しかったね。
574 大丈夫、今は私が傍にいるから、たくさん泣いて。
575

576 君はいい子だよ、ちゃんと涙を流せて偉い偉い。
577 いい子、いい子。ちゃんと泣けて偉い偉い。
578

579 (吐息・10秒)
580

581 私は死神だから、いつか君の魂をもらわなきゃいけないの。
582 でもね、君には寂しい思いのまま逝ってほしくないんだ。
583

584 これは私のわがままだけど、君には笑っていてほしい。
585 あ、いや、よく笑いながら私を困らせているかもだけどね。うん。
586

587 それとは違う、心の底から笑った顔で、私は君の魂がほしいな。
588 無理矢理なんて、そんな可哀そうなことはしたくない。

589 だから、えっと、うん、やっぱり私のわがままなんだ。
590

591 (吐息・10秒)
592

593 ■編集さんへ：背中ぼんぼんここまで
594

595 もう落ち着いた？
596

597 ■主人公：う、うん。
598

599 ……わ、おっきなあくび。泣いて疲れて眠くなっちゃったの？
600 くく、いいよ。このまま寝ちゃっても。
601

602 し、死神のお姉さんが膝を貸してあげる。うん、膝枕してあげる。
603 こっちに頭乗せて、い、いいよ。
604

605 ■効果音：膝枕する音
606 ※マイク位置戻す※

607 ▼位置：前【近距離】
608

609 んっ。
610

611 今日は、君が寝るまで傍にいてあげるね。
612 そして次に会う時はまた、笑顔を見せて。
613

614 ■主人公：泣いちゃってごめんなさい
615

616 ううん、あ、謝らないで大丈夫だよ。
617 今はゆっくり休んでいいから、ね。
618

619 おやすみなさい。
620

621 ■効果音：頭を撫でる音
622

623 (吐息・10秒を3パターンください) ※ループ用
624

625 (■トラック 4)
 626
 627 ■BGM: 焚火の音
 628 ■効果音: 翼の音
 629 ■効果音: 着地する音 (公園)
 630 ▼位置: 前【遠距離】
 631
 632 着地と……って、あつついあつつい、え、な、なに！
 633 火、火がボーボーっ燃えてる、あ、翼が……！ あっちゅっ！！
 634
 635 ■主人公: そこ焚火してるから
 636
 637 ……な、なんで！ 私が！ いつも！ 着地する！ ところで！ 焚火！ してるの！
 638 危うく燃えかけたよ。あゝ自慢の翼が少し焦げちゃった、しょぼん。
 639
 640 ■主人公: ごめんね
 641
 642 ……うん、いいの。私もちゃんと下を見ずに降りたのが悪かったの。
 643 次から気を付けることにするね、しょぼん。
 644
 645 ■効果音: 焚火の中を木の棒でつつく音 (焼き芋を確認する仕草です)
 646 ■効果音: セファイが近づく音
 647 ▼位置: 前【中距離】
 648
 649 そ、それで何してるの？ 焚火、君にはちょっと危ないよ。
 650
 651 ■主人公: 焼き芋焼いてるの
 652
 653 ……焼き芋？ え？ ひ、一人で？ というか一人でできるものなの？
 654
 655 ■主人公: 昔お母さんに教えてもらったんだ
 656
 657 ……へえ〜凄いな。で、でもなんで焼き芋焼いてるのかな？
 658 いつもみたいに公園の遊具で遊ばないの？
 659
 660 ■主人公: この間のお礼

661 ……この間のお礼？ な、なるほど。 気遣い屋さんになったものだね、うん。
662 お礼なんて気にしなくてよかったのに。 でも、うん。 嬉しいよ、ありがとうね。
663

664 ■主人公……（照れてる）
665

666 ……君、少し顔赤いよ？ た、焚火のせいかな。
667 あ、そっぽ向いちゃった。 しょぼん。
668

669 ■効果音…焚火の中を木の棒でつつく音
670

671 ん？ そろそろできそうなの？ へえ〜私焼き芋って食べたことないや。
672 ちよ、ちよっとわくわくするね。
673

674 ■効果音…軍手を渡す音
675

676 ……ありがとう。 うん、軍手するのも初めて。
677 えへへ、君といると初めてだらけだ。
678

679 ■効果音…軍手を付ける音
680

681 ■効果音…少しの間 焚火音
682

683 まだかなあ、まだかなあ。
684

685 ■主人公…もうちよっと
686

687 ……ね、ねえ。 そろそろいいんじゃないかな？
688 真っ黒こげになったら、私しょぼんしちゃうよ？
689

690 ■主人公…もうちよっとだって
691

692 う、わ、わかったよ……ちゃんと大人しく待つよ。 しくしく。
693

694 ■効果音…少しの間 焚火音
695

696 ■主人公…そろそろ
697

698 ……っ、ついに、念願の焼き芋……！
699

697 ■効果音:焚火の中から焼き芋を一個取る音
698 ■効果音:アルミホイルに包まれた焼き芋を軍手で取る音
699 ■主人公:開けてみる?
700
701 え、私が開けちゃつていいの? うん、やる、やってみたい。
702
703 ■効果音:アルミホイルに包まれた焼き芋を渡す音
704
705 うわっ、軍手してるのにあつつい……!!
706
707 じゃ、じゃあ、あけるね。
708
709 ■効果音:アルミホイルを取る音
710
711 ……あ、見えてきた。
712
713 ■効果音:アルミホイルを全部取る音
714
715 おお、これが焼き芋。わ、割ってもいい?
716
717 ■主人公:いいよ
718 ■効果音:焼き芋を割る音
719
720 わ、わあすごいすごい、ほくほくしてる。ちゃんと焼き芋してるよ。
721 しかも甘い匂いがすごい。
722
723 ちゃんと待ったかいがあつたよ。忍耐こそ正義だね。
724
725 ■主人公:あまり忍耐できてない
726
727 ……う、い、痛い所つくね君は。ちゃんと忍耐してるもん。
728 で、でもこの焼き芋に免じて今日のところはゆるしてあげる。
729
730 ……うん? 焼き芋一個しかないの?
731
732 ■主人公:お礼だから死神のお姉さんの

733 私だけの？そ、それは嬉しいけど。うーん。
734

735 ■効果音：焼き芋を差し出す音
736

737 ……はい、半分あげる。
738

739 ■主人公：お礼だから受け取れないよ
740

741 ……お、お姉さんの好意を素直に受け取りなさい。
742

743 あと、これはもう私の焼き芋なんだから、君に半分あげるのも私が決めていいはずだよ
744

745 ■主人公：……詭弁？
746

747 ……き、詭弁じゃないもん。というかなんでそんな難しい言葉知ってるのかな？
748 英才教育のたまもののかなあ！

749 小難しい事を言っていないで、冷めないうちに食べちゃお？
750

751 美味しい焼き芋は、誰かと分け合って食べるといいって、
752 心の私が言ってるからね。うん。

753 ■効果音：焼き芋を受け取る音
754

755 それじゃ、手と手を合わせて、一緒に――。
756

757 ■効果音：手を合わせる音
758

759 いただきます。
760

761 ■効果音：焼き芋を食べる音
762

763 ▼演技指示：食べながら喋る（あっついね。でもほくほくでおいしい）
764

765 はふはふ……あっついね。くもほくほくでおいひい♪
766

767 ■主人公：美味しい
768

769 ……んくつ。ねーやっぱり二人で食べた方が美味しいでしょ？
770 ふふん、私だって、たまにいい事言うんだから。
771

772 はあん。……ん、美味しいー。
773

774 ■効果音:焼き芋を食べる音 アルミホイルががさがさする音
775

776 ……はあーごちそうさまでした。
777

778 身体も心もぼつかばかだぁ。
779

780 これも、き、君のおかげだね。ありがとう。
781

782 今度は私がお礼してあげるね。
783

784 ■主人公:いいよ
785

786 ……え、遠慮はよくないよ。それに私がしたくてするの。
787

788 それとも、め、迷惑？
789

790 ■主人公:そんなことないけど
791

792 ……な、なら決まり。うん。
793

794 お腹も膨れたし、きよ、今日は解散しよつか。
795

796 君も満足そうだし、ね。
797

798 ■主人公:うん
799

800 それじゃ、ばいばい。
801

802 ■効果音:翼で飛び立つ音
803

▼位置:前【遠く】

あ、魂もらうの忘れたー。しよぼぼん。

804 (■トラック 5)
805
806 ■BG:遠くで焚火の音
807 ■効果音:翼の音
808 ■効果音:着地する音(公園)
809 ▼位置:前【中距離】
810
811 恐る恐る着地つと。
812 こゝこんにちは。きよ、今日は焚火とかしてないよね?
813
814 ■主人公:あっちでしてるよ
815
816 ……あつ、ホントだ。きよ、今日も焼き芋?
817
818 ■主人公:ううん
819
820 ……ち、違うんだ。ふうん、へへ。
821
822 ■主人公:残念?
823
824 ……ざ、残念とか思っていないよ。うん。
825 私、そんな食いしん坊さんじゃないからね、意地汚くないよ。
826 ここ大事、たぶんテストに出るから。
827
828 あ、焚火と言えば、見て見て、翼復活したの。
829
830 ■効果音:後ろを向く音
831 ■効果音:翼のバサバサ音
832 ▼位置:後ろ【中距離】首を左側にひねってマイクの方を向きながら
833
834
835 ど、どうかな? 綺麗?
836
837 ■主人公:凄く綺麗
838 ■効果音:セフィ 振り向く音
839

▼位置：前【中距離】

……え、えへへ。そんな真正面から言われると照れちゃうね。えへへ。

ちよつと翼の色もね、少し戻したの。ちよつと白いでしょ？

真つ黒もかっこいいけど、白はかわいいは可愛い。わ、私、可愛いモノ好きなんだ。

き、君はどっちの色が好き？

■主人公：どっちも

……そっかあ、どっちもかあ。君はいい子だね。うん。

でも、女たらしにはなつちやダメだよ？ お姉さんとの約束。

……立ったままお話だと疲れちゃうから、あっちのベンチに行こっか？
また手つなぐ？

■主人公：うん

……そしたら、はいどうぞ。

■効果音：手を繋ぐ音

え、えへへ。まだ恥ずかしいね。

■効果音：足音×二人分

■BG：焚火の音が近づく

座ろっか？

■効果音：ベンチに腰掛ける音×2分

そっか、ここで焚火をしてたんだね。

ちよつと肌寒かったからびったりだね。うん。

き、君は気遣い屋さんだね。偉い偉い。

876 ■効果音：頭をなでる音
877

878 (吐息・5秒)
879

880 そ、それでね。この間の、えっと焼き芋のお礼なんだけど、
881 私、全然君にあげられるものがなくてね、えっと、お礼というには少しあれかもだけど。
882 うん。耳かき、してあげようかなって。
883

884 ■主人公：耳かき
885

886 そ、そう、耳かき。あのね。私のえっと、上司？ みたいな偉い人に訊いたら、
887 人間さんは耳かきをすると喜ぶことが多いらしいって言ってたの。
888

889 ど、どうかな？ あってる？
890

891 ■主人公：わかんないけど、お母さんにはよくやってもらってた。
892

893 ……そっか。私でよければやってあげたいんだけど、どお？
894

895 ■主人公：お願い
896

897 ……う、うん、それじゃあ、前みたいに、ひ、膝枕しよっか？
898

899 ■効果音：膝を叩く音
900

901 こっちに頭乗せて。
902

903 ■効果音：膝枕する音
904

904 ▼位置：前【近距離】
905

906 よくできました。なんて、えへへ。
907

908 あ、耳かき棒。どこにしまったんだっけ？
909

909 ■効果音：翼の中を探る音
910

911 んつと……ここかな？ あ、違う。うーん。

912 ■主人公：翼に入ってるの？

913

914 ……え？うん、そうだね。大事なものは翼に入れてるの。

915 なかなか便利。たまに落としちゃうけど……。しょぼん。

916

917 ■効果音：翼の中を探る音

918

919 ……あ、あったあった。奥の方に隠れてたよ。

920

921 じゃ、じゃじゃーん。耳かき棒。

922

923 ■主人公：……。

924

925 は、反応が冷たいね。お姉さん傷ついちゃうよ。とほほ。

926

927 あ、あのね、注目してほしいポイントがあるんだ。

928 この上のふさふさしたところなんだけど、梵天って言うの。わかる？

929

930 ■主人公：わかんない

931

932 ……わかんないよね。わ、私も最近知ったんだ。

933 でね、この梵天なんだけど、ちょ、ちょっと頑張って私の翼で作ってみたの。

934 人間さんの世界にはないとかゅーひんだよ。

935

936 ふさふさ具合が当社比50%あつぷ。たぶん。

937 だからね、耳かき後の梵天も期待しててほしいな。うん。

938

939 少しでも私らしく恩返し？したくてね、こーいう結果になったんだ。

940

941 ■主人公：楽しみ

942

943 ……君はホントにいい子だね。うん。お姉さん感激。

944 それじゃ早速やってくね。

945

946 まずはどうちかのお耳を私の方に向けてくれる？

947

948 ■効果音:ゴロンする音

949 ▼位置:右耳【近距離】

950

951 ん、ありがと。

952

953 じゃ、じゃあ、耳かき棒、入れるね。

954

955 ■効果音:耳かき音

956 ▼演技指示:耳かき中は囁き 有声音

957

958 (吐息・10秒)

959

960 ……どう？ じよ、上手に出来てる？ 痛かったりしてないかな？

961

962 ■主人公:気持ちいい

963

964 ……そつかあ、よかったあ。ちょ、ちょっとというか、結構不安だったからね。

965 もし君を傷つけてしまったらって考えると、お昼と夜しか寝れないところだったよ。うん。

966

967 もし、痛い所があったら、すぐに教えて、ね。

968

969 (吐息・10秒)

970

971 かりかり、かりかり。……かりかり。かり、かり。

972 かりかりかり。……かりかり。かりかりかり。

973

974 ……へへ、だいぶリラックスしてくれてるね。

975 お顔がふにやあってなってる。か、可愛いね。

976

977 ■主人公:膝枕安心する

978

979 ……そ、そう？ 粗末な膝かもだけど、君が安心してくれるなら、上等なお膝なのかもね。

980 えへへ。今後私の売り出し文句にするね。

981

982 ▼演技指示:天使っていいかけてます

983

984 お膝が上等なてん——じゃなくて死神セフィです。

985

986 ……。

987

988 ……………。

989

990 うん。ダサイね。口に出したらびっくりするくらいダサかった。しょぼん。

991

992 (吐息・10秒)

993

994 君はこの公園によくいるけど、思い入れとかあるのかな？

995

996 す、好きな女の子との思い出とかあったりする？

997

998 わ、私、人間さんのコイバナ大好き。わくわくしちゃう。

999 ■主人公：ううん

1000 ……そっかぁ、違うのね。でも、きっと君には大切な場所、なんだろうね。

1001

1002 砂場でお城を作ったり、シーソーやブランコに乗ったり。

1003

1004 ジャングルジムだっけ？ その一番上でポーズも取ってたりしたよね。

1005 凄く思い入れがある場所なのかなって。

1006

1007 ■主人公：お母さんが良く遊んでくれたの

1008

1009 ……お母さんと一緒に遊んでたんだ。うん、それは大事な思い出だ。

1010

1011 (吐息・10秒)

1012

1013 かりかり、かり、かり。……かり、かり。かりかり。

1014

1015 かり、かりかり。かりかりかり。かり。

1016 あ、ここ気持ちいいのかな？ 少しビクッてしたね。

1017

1018 くすぐったかった？ それともやっぱり気持ちよかったのかな？

1019

■主人公：どっちも

1020 ……え、えへへ。どっちもって欲張りさんみたいな答えだね。
1021 それじゃ、少しここだけをかきかきしてあげる。
1022

1023 (吐息・20秒)
1024

1025 な、なんか不思議。私、意外と友達多くないから、人とかんな密着することないの。
1026

1027 ■主人公：意外？
1028

1029 ……う、鋭いツツコミが胸を切り裂くよ。ちくちくする。
1030 訂正します、見ての通り友達がまったくいいです。はい。
1031

1032 だ、だから公園でね、遊んだり、焼き芋食べたり、こーして耳かきしてるの、
1033 はじめてで、私にとっても凄く思い入れのある公園になったんだ。うん。
1034

1035 君の大切な居場所が、私の大事な居場所になったの。え、えへへ。
1036 きっと君が忘れてしまっても、私はずっと覚えてるよ。
1037

1038 明日も、明後日も。一週間後も一か月後も。
1039 何年、何十年、何百年たっても。
1040

1041 君との思い出は大切な宝物だよ。
1042

1043 (吐息・30秒)
1044

1045 ん、このくらいでおしまいにしとくね。
1046 次はお待ちかね？ 梵天でぼふぼふしてあげる。
1047

1048 私の翼をとくと味わうべし、だね。
1049

1050 入れるよ。
1051

1052 ■効果音：耳かき（梵天）
1053

1054 (吐息・15秒)
1055

1056 ど、どう？ぼわぼわする？それともぞわぞわ？
1057 うちやうちやしちやったりもするかな？
1058

1059 ■主人公：よくわからないけど気持ちいい
1060

1061 ……え、えへ。そ、それならよかったよ。
1062

1063 翼の感触をしっかりと味わってもらいたいから、静かにやってくね。
1064

1065 (吐息・10秒×3パターンください) ※ループ用
1066

1067 ■編集さんへ：今までの吐息を使用して2分ほど梵天音
1068

1069 ……はい、おしまい。気持ちよかった？
1070

1071 ■主人公：すごく
1072

1073 喜んでもらえてよかった。うん。
1074

1075 じゃ、じゃあ最後にとっておきの仕上げ、ね。
1076

1077 ▼演技指示：お耳ふーつ。
1078

1079 ふーうーうーうーうーうーうーうー。
1079

1080 ■効果音：身じろぎ音
1081

1082 あ、びっくりしちゃった？
1083

1084 お耳に息吹きかけるのも、人間さん好きなんだよね？
1085

1086 さふらいずってやつだよ。うん。
1087

1088 もう一回やってあげるね。
1089

1089 ふーうーうーうーうーうーうーうー。
1090

1090 ふーうーうーうーうーうーうーうーつ。
1091

1091 ……はあはあ、息が足りない。

1092 すう〜はあ、すう〜はあ。

1093
1094 危ない危ない、私の魂が取られちゃうところだった。

1095
1096 ふう〜。

1097
1098 ……うん、これでこっちのお耳は終わり。

1099 次は反対のお耳をしようか？

1100
1101 このままごろんってできる？ お顔を私のお腹の方に向けられる？

1102
1103 ■主人公：うん

1104
1105
1106 それじゃ――。

1107 ■効果音：ごろんする音

1108 ▼位置：右耳【近距離】から左耳【近距離】に移動しながら

1109
1110 ごろーろーろーん

1111
1112 おりこうさん、だね。うんうん。

1113
1114
1115 じゃあ、またやっていくよ。

1116 (吐息・20秒)

1117

1118 かりかり、かりかりかり。かりかり、ふふん、さっきよりこなれてきた気がする。

1119 かりかり、かりかり。かり、かり。かりかりかりかりかり♪

1120
1121 い、一定のリズムを刻むみたいにな、かりかりするの楽しい。

1122 り、リズムゲームみたい、だね。うん。やったことないけど。

1123
1124 (吐息・10秒)

1125

1126 ……ふふ、お耳びくびく動いて可愛い。別の生き物みたい。

1127 触り心地もよさそう。じゅるり。

1128 ■主人公：食べないでよ

1129

1130 ……た、食べたりはしないから。ちょっと餃子みたいで美味しそうとは思ってたけども。

1131 はあ、食べ物話を聴いてたらお腹すいてきた。

1132

1133 もう長いことポテチを食べてない気がする。焼き芋もまた食べたいな。

1134 私の大好物リストに堂々のランキング入りを果たしたくらい、すっごく美味しかったよ

1135

1136 ▼演技指示：次の台詞、少し寂しそうに

1137

1138 いつか、また、君の作った焼き芋が食べられたらいいなあ。

1139

1140 (吐息・20秒)

1141

1142 ■主人公：ふあゝ

1143 ■効果音：衣擦れ音

1144

1145 わ、大きなあくび。もうおねんねの時間かな？

1146

1147 も、もし眠たくなっちゃったら、そのまま寝てもいいからね。

1148 終わったらちゃんと起こしてあげる、から。

1149

1150 ■主人公：死神のお姉ちゃんは眠くないの

1151

1152 ……私は大丈夫。死神だからね、眠気とかはあまりないの。

1153 で、でも寝ようと思えばいくらでも寝れるから、たまくに、うん、たまくにだよ。

1154 ぐぐたら生活することもある。えっへん。

1155

1156 炭酸のジュースとポテチを食べながらテレビとかまんがを見るの。

1157 じ、自堕落最高だね。

1158

1159 ……。

1160

1161 ん？　なんか教育に悪いことを言ってる気がする。

1162 い、今のは忘れて私、ちゃんとした死神だからね。うん。

1163

1164 ……ちゃ、ちゃんとした死神ってなんだろうね。へへ、おかしい♪

1165

1166 (吐息・10秒)

1167

1168 ほんとに眠そう。焚火の音って心地いいよね。ぱちぱちって木がはじける音。ずっと聴いていたい。

1169

1170

1171 君は今、私のお腹に顔を向けてるからあれだけど、
1172 火を見ると人間さんって安心するんだって。

1173

1174 もしかして、だから焚き火をしてくれてたのかな？

1175

1176 ■主人公:そうじゃないけど

1177

1178 ……そうなの？ 無意識だった？ 無意識でも嬉しいかな。
1179 ほくほくしちゃう。焚火だけに。

1180

1181 呆れたような雰囲気出さないで。
1182 自分でもちよつと言って後悔してるんだから。しとお。

1183

1184 (吐息・10秒)

1185

1186 ■主人公:ちよつと寝る

1187

1188 ……うん？ 寝るの？ いいよ。おやすみなさい。耳かき終わったら起こすね。

1189

1190 (吐息・20秒)

1191

1192 ■編集さんへ:今までの吐息を使用し2分くらい耳かき音

1193

1194 ごめんね。…魂をもらうのは私たちの勝手な事情でしかないんだ。
1195 君が望むならずっとこの公園で幸せに生きて欲しい。笑顔でいてほしい。

1196

1197 これも私の我儘なのかも知れないね。

1198

1199 偽善、偽物の善意。今の私を表してる言葉みたい

1200 (吐息・10秒)

1201

君の望みはなあに？ どうしてずっとここにいるのかな？

1202

お母さんと喧嘩したから？ お家に帰れないから？

1203

1204

(吐息・5秒)

1205

1206

ううん、わかってる。君が望んでる事なんて最初から。

1207

だけど私にはそれを叶えられない。私は死神だから、君の魂を奪うだけ。

1208

それ以外に救済する方法がないんだよ。ごめん、ね。

1209

1210

(吐息・10秒)

1211

1212

君は悪くない。何も悪くないのにね。あんまりだよ。

1213

1214

ずっと笑顔でいてほしかった。幸せでいてほしかった。

1215

1216

例えばそれがこの誰もいない公園だったとしても。

1217

君が笑って過ごせるなら、それが一番だと思ってた。

1218

1219

けど、きつと違うんだよね。あの日君が落ち込んで泣いていた日。

1220

1221

ただ笑ってるだけじゃない。ちゃんと君は君なりに考えていた。

1222

このままじゃダメなことを。現実を見ていたんだね。

1223

1224

だから、うん。私は死神として使命を全うすることにするよ。

1225

誰のためでもなく私のために。

1226

1227

だから、今日だけはゆっくりしよ。

1228

最後まで私が傍にいるから、ね。

1229

1230

(吐息・20秒)

1231

1232

■編集さんへ…今までの吐息を使用し3分ほど耳かき音

1233

1234

……ん、耳かきはこのくらいにしとこっか。

1235

1236 さて、耳かきは終わったけど、ぐっすり寝てるね。
1237 無防備すぎるくらいに。すやすやだ。
1238

1239 ▼演技指示：悪戯気に笑う
1240

1241 くくく

1242
1243 ふ~~~~~~~~。

1244
1245 ■効果音：身じろぎ音
1246

1247 わわっ、ビクってした。あ、起きた？ おはよう。
1248

1249 ■主人公：びっくりした
1250

1251 くへーちゃんと起こしてあげるって言ったからね。
1252 し、死神は約束を守るんだ。
1253

1254 ■主人公：もっと優しく起こしてほしかった
1255

1256 ……む、お耳ふーって起こされるほど優しいものはないと思うの。ふんふん。
1257

1258 そんな意地悪い子には、もうお耳ふーっ、してあげないよ？
1259

1260 ■主人公：ごめんなさい
1261

1262 ……謝る速度が速いよ。好きなんだね、お耳ふーっ。
1263 い、いいよ。そーしたらもう一回やっただげるね。
1264

1265 いへよ。
1266

1267 ふ~~~~~~~~っ。
1268

1269 も、もういつちよ。
1270

1271 ふ~~~~~~~~っ。

1272 はいおしまい。はあ、はあ。酸素ふりーず。はすはす。

1273

1274 すう~~~~~~~~はあ~~~~~~~~。

1275 すう~~~~~~~~はあ~~~~~~~~。

1276

1277 危なかった。これは命がけだね。うん。

1278 と、順番前後しちゃったけど、梵天の方もやっていくね。

1279

1280 ■効果音：梵天の音

1281

1282 さつきみたいに静かに、ただ梵天の気持ちいい音と梵火の音だけ聴いてて。

1283

1284 (吐息・20秒)

1285

1286 ■編集さんへ：今までの吐息を使用し4分ほど梵天音

1287

1288 ……はい。おしまい。これでおしまい、だよ。

1289

1290 ■主人公：ありがとう

1291

1292 ……どういたしまして。

1293 今日はもう暗いからこのまま一緒に寝る？

1294

1295 最後まで私が一緒にいてあげるから、ね。

1296

1297 ■主人公：うん

1298

■編集さんへ：環境音フェードアウト

1299 (■トラック6)

1300

1301 ■BG:小雨の音

1302 ■効果音:主人公が起き上がる音

1303 ▼位置:前【中距離】

1304

1305 ≪セフィ≫

1306 こゝこつちで一緒に寝よっか？

1307

1308 ■主人公:そつちで？

1309

1310 ……うん。え、えつと、あのあの。

1311 私に、だ、抱き付ける？ぎゅーってできるかな。ドキドキ。

1312

1313 ■主人公:できる

1314

■効果音:主人公が抱き付く音

1315 ※マイク位置変更箇所※もしくは椅子の上に乗って

1316 ▼位置:前【近距離】マイクが胸のあたりに来るくらい

1317

1318 ……あふっ！ちゅ、躊躇がない。あと数ミリでみぞおちだったよ。

1319

1320 ■主人公:痛かった？

1321

1322 ……う、ちよ…ちよつとだけ、痛かった……うう……。

1323 つ、次、抱き付くときは優しくね。

1324 れでいゝの扱いは慎重に、だよ。うん。

1325

1326 ■主人公:レディ？

1327

1328 ……うん。レディ。私、立派なレディ。

1329 そゝ聞き返されると、哀しくなるよ。およよ。

1330

1331 ……そ、そんなことはどーでもよくて。よくはないけど、今は置いといて。

1332

1333 ■効果音:翼を広げる音

1334

■効果音:翼で主人公を包む音

1335 こーして翼で君のことを包んであげる。…で、一緒に横になろう。

1336

1337 ■主人公：翼が大きくなった

1338

1339 ……ふふん、翼が大きくなってびっくりした？

1340 普段は小さくしてるけど、大きくすることもできるんだ。えっへん。

1341

1342 ■環境音：このあたりから雨音（小雨から雨音に変わる）

1343 ■効果音：横になる音

1344 ▼位置：前【近距離】

1345

1346 え、えへへ。君の顔、す、凄く近い。びっくりするくらいだね。

1347

1348 ■主人公：気持ちいい

1349

1350 ……でしょ？てん——じゃなくて死神特製の羽毛布団だからね。

1351 寝心地ばっちり、だよ。たぶん。うん。

1352

1353 ■効果音：翼が動く音（衣擦れ音のような音）

1354

1355 な、なんかそわそわしちゃう。誰かを翼で包むなんてはじめてだから、
1356 なんかむずむず？するね。なんだろうこの感覚。不思議、だ。

1357

1358 ■主人公：嫌な感じ？

1359

1360 ……ううん、全然嫌じゃないよ。普段触らないというか、
1361 触られないところを触られてるだけだから、ちよつと違和感があるだけ。

1362

1363 君に触られて嫌だとかまったくくない、よ。へへ、君はやっぱ優しい子だね。

1364

1365 （吐息・10秒）

1366

1367 気づいたら雨が降って、焚火の火、消えちゃったね。
1368 寂しい。しおしお。

1369

1370 （吐息・10秒）

1371 へへ、えい。

1372

1373 ■効果音：主人公の耳を触る音

1374

1375 耳かきしてる時からずっと、ゆっくりじっくり触ってみたかったんだ、

1376 思った通りふにふにしてる、触って気持ちいい感触だね。うん。

1377 さわりさわり、さわりさわり。クセになっちゃうね。

1378

1379 ■主人公：お耳触って楽しいの？

1380

1381 ……お耳触って楽しいかと言われると、どっちでもないんだけど、

1382 手持無沙汰なときにあると嬉しいみたいな感じだよ。わかる？

1383

1384 ■主人公：わかんない

1385

1386 ……わかんないよね。私もよくわかってないもん。へへ。

1387

1388 (吐息・10秒)

1389

1390 ……知ってる？ お耳をぐにぐにすると、リラックスしてよく寝れるようになるんだって。

1391 だからこれはマッサージであって、私が触りたいから触ってるわけじゃないの。

1392

1393 君のためにやってあげてる。

1394

1395 ■主人公：嘘ばっか

1396

1397 ……うっ、嘘って断定するのが早いよ。およよ。

1398 ただ触りたかっただけです。すみません。しとお。

1399

1400 でも、リラックスはホントみたい。どう、かな？

1401 ホントにリラックスしてる？

1402

1403 ■主人公：言われれば？

1404

1405 ……うん、そんなすぐにはわからないよね。

1406 そしたらもっとお耳のマッサージやってくね。

1407 ■効果音：お耳のマッサージ 開始

1408

1409 お耳を、私の指でぐにぐに。ぐにぐに。

1410

1411 (吐息・10秒)

1412

1413 ど、どう？ 嫌な感触とかじゃない？

1414

1415 ■主人公：気持ちいい

1416

1417 ……よかったあ。うん、ならもつとやったげるね。

1418

1419 ぐにぐに、ぐにぐに、ぐにぐにぐにぐに。

1420

ぐにぐにぐに、ぐにぐに♪ぐにぐに♪

1421

1422 くく、楽しい。うきうき。

1423

1424 (吐息・10秒)

1425

1426 少しお耳が温かくなってきたかも。

1427

このままぐにり続けたら、火とかおこせそうだね。わくわく。

1428

1429 ■主人公：怖い

1430

1431 ……冗談、冗談♪ 流石に火がつく前にやめてあげる。

1432

じょーしきのあるお姉さんだもん。うん。

1433

1434 (吐息・10秒)

1435

1436 ……今思うと、人間さんにこんな触るのは初めてかも。

1437

あ、いや、手を繋いだりとかはしてたけどね。

1438

1439 こーして自分から、ずっと触るのは初めて。

1440

1441 羽根で包んだりしたのも、公園で遊んだのも、耳かきしたり、

1442 手を繋いだり、膝枕したり。たくさんのことを君と一緒にしたよね。

1443 楽しかった。ちよつと困らせるようなことをする君だけど、
1444 うん、凄く楽しかった。ありがとね。
1445

1446 ■主人公:僕も楽しかったよ
1447

1448 (吐息・20秒)
1449

1450 ■編集さんへ:今までの吐息を使用し2分ほど耳のマッサージ
1451

1452 ふぅ……お耳のマッサージはここまで。
1453

1454 これ以上やるとホントに燃えちゃうかもだからね。安全第一。
1455

1456 君のとりんとした顔も見れたので満足だよ。うん。
1457

1458 ■主人公:お姉ちゃんも悪い顔してた
1459

1460 む、変な顔なんてしてないもん。慈愛の表情でマッサージしてあげてたんだから。
1461

1462 そんな生意気なことを言う君には、こーしちゃうぞ。ふん。ふん。
1463

1464 ■効果音:腕を伸ばす音(衣擦れ音などで表現)
1465

1466 えいっ。
1467

1468 ■効果音:お耳ふちぎ
1469

1470 え、えへへ、お耳塞いじやった。
1471

1472 ……ふふ、今、私が何言ったか聞こえなかったでしよ。
1473

1474 ふふん、今ならなんでも言い放題だもん。
1475

1476 ■効果音:お耳ふちぎ
1477

1478 ……ぱっ。えへへ、さて問題です。
1479

1480 なんていったでしょうか？
1481

1482 ■主人公:○○
1483

1479 ……うえ、な、なんでわかるの、え、聞こえてた？ 嘘。

1480

1481 ■主人公：唇の動きでなんとなく

1482

1483 ……まさか読唇術の遣い手だったとは、あ、侮れない子だね、うん。

1484

1485 お仕置が必要だ。

1486

1487 ■効果音：お耳ふさぎ さつきより長め

1488

1489 めゅー。

1490

1491 ぱっ、っど。

1492

1493 つ、次こそなんて言ったかわからないでしょ？ ど、どうだ。

1494

1495 ■主人公：早口でわからなかった

1496

1497 ……ふ、ふふん。無事勝利。私史上最大の早口だったからね。むふーっ。

1498

1499 おかげで唇少し嚙んじやった、しおしお。

1500 ■主人公：大丈夫？

1501

1502 ……大丈夫だよ。ちょっと嚙んだだけだから、

1503

1504 心配してくれてありがとう。

1505

1506 ご褒美に、またお耳ふさぎしてあげる。

1507

1508 ■主人公：もうお姉ちゃんがしたいだけじゃん

1509

1510 ……私がしたいだけとか言わないの、真実は時に死神を傷つけるんだよ。

1511

1512 ■主人公：はい

1513

1514 えっっん

1515 んぐーんぐーんぐ。

1516

1517 ■効果音:お耳ふさぎ 少し長め

1518

1519 ぱっ！

1520

1521 ふふ、楽しかった。私、大満足。

1522

1523 ■主人公:それならよかった

1524

1525 ……なんだか大人な目をしてるね。わ、私、君よりずっとお姉さんだからね。
1526 そのあたり忘れないようにだよ。

1527

1528 (吐息・5秒)

1529

1530 ふう、少し休憩しよ。

1531

1532 (吐息・20秒)

1533

1534 ■編集さんへ:今までの吐息を使用して1分ほど流してください。

1535

1536 夜になって、明かりも少ない。この公園には私と君だけだね。

1537

1538 虫さんの鳴き声すらない、あるのは雨の音だけ。

1539

1540 雨がざーざー、ざーざー降ってるだけ。

1541 ねえ、君は一人で寂しくないの？

1542 お家にも帰らないでずっと一人この公園にいて、寂しくないのかな？

1543

1544 ■主人公:今は死神のお姉ちゃんがいるから平気

1545

1546 私がいるから平気だなんて……う、嬉しい事を言ってくれるのね、あせあせしちゃう。
1547 でもお母さんに会いたいと思わないの？

1548

1549 ■主人公:それは……。

1550

1551 ……あ、ご、ごめんね。意地悪な質問だったね。

1552

1553 逢いたいよね。君のお母さんもきっと同じこと思ってるよ。

1554

1555 でも、私は死神だから……。

1556 お母さんに逢わせてあげることとはできないの。ごめんね。

1557

1558 ■主人公：そっか

1559

1560 でも君の想いは必ず伝えるから。君がお母さんを大好きなこと。

1561 君がお母さんに謝りたかったこと。全部、私がちゃんと伝えるから、ね。

1562

1563 ■主人公：うん

1564

▼演技指示：泣きそうになりながら

1565

1566 ごめんね。こーすることしかできなくて。

1567

ホントはもっと君と遊びたかった。もっと君の笑顔を見たかった。

1568 ずっと笑ってほしかった。でも時間がないの。

1569

1570 もっと私に力があれば、君の望みを叶えてあげたかった。

1571

お母さんに逢わせてあげたかった。

1572 ごめんね、力不足で、君の力になれなくて。ごめん、ごめんなさい。

1573

1574 ■主人公：泣かないで

1575

1576 ……泣いてないよ。泣きたいのは君の方だもん。

1577

1578 理不尽だね、君は何も悪い事してないのに、ただ巻き込まれただけなのに。
1579 それなのに魂を刈り取らないといけない。最低だね、私。

1580

1581 ■主人公：そんなことない

1582

1583 ……ありがとう。気を遣わせちゃったね。

1584

うん。ごめんね。私が、魂をもらう私が、泣き言いっちゃダメだね。

1585

1586 (吐息・10秒)

1587 ねえ。君を抱きしめていい？

1588 君のことを忘れないように、ずっと心に残しておきたいの。

1589 君の温もりを、君の気持ちを、君のことを全部。

1590

1591 ▼演技指示：少し甘えるように

1592

1593 だから、いい？

1594

1595 ■主人公：いいよ

1596

1597 ん、ありがとう。

1598

1599 ■効果音：抱き付く音

1600 ▼位置：前【近距離】マイクが胸のあたり来るイメージです

1601 ■エンジニアさんへ：必要に応じてマイクの高さを変えて下さい。

1602

1603 (吐息・10秒)

1604

1605 君はちゃんとここにいる。

1606 君がいたこと、私はずっと覚えてるから、君のことを忘れたりなんかしない。

1607

1608 これからずっと、明日も明後日も。

1609 1年後も10年後も、100年後だってずっと。

1610

1611 私の心に君を焼き付けるね。

1612

1613 (吐息・10秒)

1614

1615 今日はこのまま、一緒に寝よ？そして起きたなら、ね。

1616

1617 ■主人公：…わかった。

1618

1619 ……うん。

1620

1621 それじゃおいで、もっと抱きしめてあげる。さっきは私からだから、次は君から来て。

1622 お母さんにはなれないけど、少しでも君を甘やかしてあげたい。

1623 ん。

1624

1625 ■効果音：主人公が抱き付く音

1626

1627 ぎゅーっ。えへへ、恥ずかしい？

1628

1629 ■主人公：ちよっと

1630

1631 私もちよっと恥ずかしいよ。えへへ、またお揃いだね。

1632

1633 (吐息・10秒)

1634

1635 ■効果音：頭を撫でる音

1636

1637 いい子、いい子。頑張ったね。寂しかったね。偉いよ。

1638

1639 だから今だけはゆっくりして、ね。

1640

1641 (吐息・10秒)

1642

1643 ▼演技指示：シューベルトの子守歌を鼻歌で2フレーズお願いします。

1644

1645 おやすみなさい。

1646

1647 ■主人公：おやすみなさい、お姉ちゃん

1648

1649 (吐息・20秒)

1650

1651 ……私も……少しだけ……。……すうすう、すうすう。

1652

1653 (寝息・10秒×4パターンください) ※ループ用

1654

1655 ■編集さんへ：寝息の音源を使って3分ほど寝息

1656 (■トラック7)

1657

1658 ■環境音：虫の鳴き声（夜）

1659 ▼位置：前【中距離】

1660

1661 ≪セフィ≫

1662 ……じゅ、準備はいい？何か言い残したこととかある？

1663

1664 ■主人公：あ、これあげる

1665 ■効果音：主人公がぼっけからおまもりを取り出し差し出す音

1666

1667 ……ん？これ私にくれるの？またミミズとかじゃないのよね？おそろおそろ。

1668

1669 ■効果音：おまもりを受け取る音

1670

1671 ……どれどれ、……おまもり？これお母さんからもらった

1672 大切な思い出じゃないの？

1673

1674 ■主人公：だからあげる

1675 ▼演技指示：次の台詞少し泣きそうになりながら

1676

1677 ……うん、ありがとう。大切にするね。

1678

1679 男の子からプレゼントを貰ったの、

1680 初めてだよ、やっぱり女たらしの才能があるのかも、うん。

1681 だって、ちよっとドキドキしちゃってるもんね。

1682

1683 ■主人公：また独り言？

1684

1685 ……うう、気にしないで。お姉さん少し打ちひしがれてただけだから。

1686

1687 私もお返したいんだけど、何も持たないまま放り出されちゃったんだよね。

1688 あげられるものがないんだよ、ごめんね。

1689

1690 ■主人公：気にしないで

1691

1692 ……君は気遣い屋さんだねホントに。とほほ。

1693

1694 ▼演技指示：次の台詞少し悩みながら

1695

1696 うーん……。でも、これは……。よし！

1697

1698 ちょ、ちよつとこつち来れる？

1699

1700 ■主人公：うん

1701

■効果音：一歩踏み出す音

1702

▼位置：前【近距离】

1703

1704 ……お目目閉じて。

1705

1706 ■主人公：うん？

1707

1708 ……い、いいから。

1709

1710 ■主人公：目を閉じる

1711

1712 ええいままよ

1713

1714 ▼演技指示：おでこにキス

1715

1716 ……ん、ちゅつ。

1717

1718 ■効果音：セフィが一歩離れる音

1719

▼位置：前【中距離】

1720

1721 え、えへへ。おでこにちゅーしちゃった。

1722

い、嫌だった？ 今、私にできるお返し、なんだけど。

1723

1724 ■主人公：うーん、でも恥ずかしいね

1725

1726 ……そ、そうだね。恥ずかしい。

1727

でもこれで君のことを探さなくても見つけられる。

1728 まゝきんぐってやつだね。うん
1729
1730 ……。
1731
1732 ……………。
1733
1734 て、照れくさいから、はじめよつか。
1735
1736 すう、はあ。
1737
1738 私はセフィ、君の魂を貰いにきた死神よ。
1739 さあ、覚悟して、私に君の魂を差し出しなさい。
1740
1741 ■主人公：いいよ
1742
1743 ▼演技指示：泣きそうになりながら
1744 ……ごめんね。
1745
1746 こっちにもう一回来て、あ、ちゅ、ちゅーはもうしないからね。うん。
1747
1748 ■主人公：死神さんなら鎌とか魂取るの
1749
1750 ……ん？ あゝ、私は新米の死神だから、まだ鎌とか持っていないの。うん。
1751 あんなぶつそうなモノ持ちたくもないね。怖いし。
1752
1753 ■主人公：確かにお姉さんには似合わないね。
1754
1755 ……に、似合わないって言われるとそれはそれで、なんか嫌だよ。うん。
1756
1757 ■効果音：主人公が一步前に出る音
1758 ▼位置：前【近距離】
1759
1760 ……昨日みたいに私に抱き付いて。
1761
1762 ■効果音：抱き付く音
1763 ■効果音：腰に手を回す音

1764 腰に手を回して。

1765

1766 ▼演技指示：優しく子をあやすように

1767

1768 うん、これでいいよ。あとはゆっくり目を閉じて。

1769

眠る時のように、すう〜と身体力を抜いて。

1770

1771 ……ありがとう。よくできました。あとは私に任せて。

1772

1773 ■効果音：魔法のような音

1774

1775 ……大丈夫。怖くないよ。人が最後に辿りつく場所に行くだけ。

1776

怖い思いも寂しい思いもしない、楽園に行くだけだよ。

1777

1778 (吐息・5秒)

1779

1780 そしていつか、君の魂はまたこの世界に戻ってくる。

1781

輪廻転生ってわかる？

1782

1783 ■主人公：わかんない

1784

1785 ……そうだよ。わからないよね。

1786

えっとね、簡単に言うと、新しい身体に、君の魂が入って、また新しい人生が始まるの。

1787

1788 ■主人公：そう、なんだ

1789

1790 ……だから、ね。次の人生ではもっと幸せになろうね。

1791

長生きしようね。毎日楽しく、笑えるように――。

1792

1793 ▼演技指示：泣きそうになりながら

1794

1795 ずっと見てるから、見守ってるから、ね。

1796

1797 ▼演技指示：泣きながら

1798

1799 きっと……また逢える……。私は長生きさんだもん。

1800 だから、少しの間、お別れするだけ、だから、ね。
1801
1802 ■効果音:魔法の音
1803 ■主人公:うん約束だよ、天使のお姉ちゃん
1804
1805 ……約束。また、ね。ばいばい。
1806
1807 ■効果音:魔法のような音 主人公がいなくなる
1808
1809 (すすり泣き・10秒)
1810
1811 ■効果音:魔法の音 フェードアウト
1812

1813 (■トラック8)

1814

※通常マイクで収録予定※

1815

1816

《セフィ》

1817

これは一人の男の子の物語。

1818

1819

とある時代のとある場所に。

1820

1821

親子で暮らすひとつの家庭がありました。

1822

1823

母と父のもとに生まれた子供が一人。

1824

まさに絵にかいたような幸せな家族。

1825

1826

母も父も子供を愛し。子供も子供ながらに親を愛していました。

1827

ですが突然、その日は訪れました。

1828

1829

虫の居所が悪かったのか、母と子供は喧嘩をしました。

1830

原因は些細なことです。

1831

1832

きつと母も悪く、子供も悪かった。

1833

数日もすれば笑い話になるような、ホントに些細なことでした。

1834

1835

子供は家を飛び出し、いつも遊んでる公園へ。

1836

母はすぐに帰ってくるだろうと思い、追いかけてませんでした。

1837

1838

時間が経って夜に差し迫る夕方だった。

1839

1840

公園でいくら遊んでもお母さんの悲しそうな顔が浮かんで、楽しく遊べない子供。

1841

子供に少し強く言い過ぎたと反省し公園に向かう母。

1842

1843

公園に着いた母は子供の姿を探します。ですがあたりは暗くよく見えません。

1844

1845

入れ違いになったかとも思い始めた時。

1846

ふと足元を見ると、いつかの誕生日に息子にあげたお守りが落ちていました。

1847

1848

そして、遠くの方で耳をつんざくサイレンの音が鳴りました。

1849 ■編集さんへ…少し間

1850

1851 ≪女神≫

1852 天使セラフィエル。ここへ。

1853

1854 ≪セフィ≫

1855 な、なんでしょう女神さま。

1856 あ、あのお菓子のつまみぐいの件なら、さっき先輩に怒られたばかりです、はい。

1857

1858 ▲演技指示…次の台詞 少し怒り気味に

1859

1860 ≪女神≫

1861 ……その話はあとでゆつくりしましょう。

1862

1863 ≪セフィ≫

1864 ひえやあ！ うう余計なことを口走ったかも、口は禍の元だね、うん。

1865

1866 ≪女神≫

1867 こほん、あなたはまだ天使としての役目を果たしていませんよね。

1868

1869 天使は魂の望みを知ることができます。

1870 もし望みから外れてしまいそうになれば、軌道修正しなければなりません。

1871

1872 ≪セフィ≫

1873 は、はい。知っています。ちゃんと習いました。

1874

1875 ≪女神≫

1876 では、なぜ天界でぐーたら過ごしているのでしょうか？

1877 ポテチを食べ、お昼寝をして、起きたらまた漫画やテレビを見る。

1878 そんな子に育て覚えはありませんよ。

1879

1880 ≪セフィ≫

1881 ま、まさに堕天使ですね。

1882

1883 ≪女神≫

1884 ……。

1885 ≪セフィ≫
1886 ひつ。む、無言が一番怖いです。
1887

1888 ≪女神≫
1889 はぁ、なまけもので人見知りのあなたに役目を与えます。
1890 下界を覗く装置を前に渡しましたよね。
1891

1892 ≪セフィ≫
1893 ……はい、最先端でした！
1894

1895 ≪女神≫
1896 ……これは古来より伝わる——いえやめときましよう。
1897

1898 ≪セフィ≫
1899 でも映ってるのは、小っちゃくてかわいい子共だけですょ？
1900

▼演技指示：独り言

1901
1902 ≪女神≫
1903 あなたも小っちゃくて可愛いのですが……。
1904

1905
1906 ≪セフィ≫
1907 何か言いましたか？
1908

1909 ≪女神≫
1910 なんでもありません。
1911

1912 ≪女神≫
1913 こほん。もう気づいていると思いますが、
1914 あの子は残念ながら亡くなっています。
1915

1916 恐らく自分では亡くなったことに気づいておりません。
1917 あの子が無意識に作り出した世界で、行く当てもなく彷徨っているだけ。
1918

1919 ≪セフィ≫
1920 ……。

1921 《女神》

1922 あなたにはあの子の魂を正しい場所へ導いてあげてほしいのです。

1923

1924 《セフィ》

1925 で、でも、あの子すごく楽しそうですよ。

1926 一人でですけど、砂場でお城を作ったり、シーソーを一人でギコンボタンしてたり、
1927 ブランコ乗ってキャッキヤしてました。

1928

1929 魂を正しい場所へって、それって本当に死んじゃうってことですよね。
1930 今みたいに公園で楽しく遊ぶこともできないんですよ？

1931

1932 《女神》

1933 ……言いづらいですが、あの子はもう亡くなっています。

1934 今こうしていることがイレギュラーなのです。

1935 可哀そうではありますが、それが天使の役目。

1936

1937 行き場のない魂の救済をしてあげてください。

1938

1939 《セフィ》

1940 ……。

1941

1942 《女神》

1943 納得がいけない顔をしていますね。

1944

1945 《セフィ》

1946 納得……そ、そうです。納得いきません。

1947 魂の救済って、それって天使の都合にすぎないと思うんです。うん。

1948

1949 あの子はまだ凄く楽しそうに笑っています。

1950 その笑顔を奪うのって、それは天使でもやってはいけないこと、なんじゃないですか？

1951

1952 《女神》

1953 ……しかし、あのまま放置をしておいてしまえば――。

1954

1955 ■編集さんへ：かぶせるように

1956

1957 《セフィ》

わ、私は嫌ですから！ 天使が子供の笑顔を奪うなんて
そんな酷いことできません！

1960 《女神》

愛着がわいてしまったのですか？

1962 《セフィ》

あ、愛着って、そんなことはないですけど、はい。

1965 《女神》

随分と熱心にあの子の様子を見てましたもんね。
もしかして好きになっちゃったのですか？

1967 《セフィ》

ふえ、す、好きって、そんなことない、です。

1971 《女神》

天使が人間を好きになるなんて、そんな漫画みたいなこと、ないはず。
慈しむ感情を大事にしてあげてください。

1973 《セフィ》

だ、だから好きとかじゃないもん。
そーいうのじゃなくて、可哀そうじゃないですか。
何も知らない子に、死んでって言うものですよ？
やってること死神さんと大差ないですもん。

1974 《女神》

気持ちわかります。けどあなたも天界に身を置くものとして、
天界のルールに従ってください。

1975 《セフィ》

嫌です。やりたくないです。あの子にはずっとこのまま笑ってほしいんです！

1980 《女神》

▲演技指示：次の台詞 ぼそっと呟く

1993	《女神》
1994	あなたは優しいですね。
1995	
1996	《女神》
1997	天使セラフィエル。これは命令です。
1998	あの子の魂を導くまで、この天界へ戻る事を禁止します。
1999	
2000	《セフィ》
2001	え？
2002	
2003	《女神》
2004	使命を果たしてきなさい。
2005	
2006	■効果音：魔法の音
2007	■状況：今いるところに穴が空き、下界に墜とされる。
2008	
2009	《セフィ》
2010	ひゃ~~~~~~~~~~~~つ！
2011	
2012	《女神》
2013	ごめんなさいね。けれどいつかあなたにもこの必要性がわかってくれると嬉しいわ。
2014	
2015	■編集さんへ：少し間
2016	
2017	《セフィ》
2018	そこで意識が覚醒する。
2019	
2020	天界から落とされ、あまりのショックで気絶してしまっていた。
2021	普段なまけて翼で飛ぶことをしてないバチが当たってね。天使だけに。うん。
2022	
2023	「ここは公園？」
2024	
2025	あたりを見渡すとここ最近ずっと見ていたあの子がいる公園にいた。
2026	遠くの方で子供の声が聴こえる。きっとあの子だ。
2027	
2028	見つかる少し不都合かなと思い、こそこそと移動する。

2029 決して人見知りで心の準備ができてないわけじゃないからね。うん。
2030
2031 草葉の陰に隠れながら、子供の様子を伺う。
2032
2033 客観的に見てこれが天使のやることなのかな？
2034 きつと女神様も天界で笑ってるよ。しょぼん。
2035
2036 そんな気を知らずに、あの子は楽しそうに公園で遊んでる。
2037 ここ最近ずっと見てきた子。
2038
2039 「ホントに楽しそう」そう思わず呟いてしまうくらいに、あの子は笑顔を浮かべていた。
2040
2041 女神様の言葉を思い出す。
2042
2043 ううん、思い出さなくても知ってる。
2044 彷徨った魂はいずれ浄化することもなく消え去るのだと。
2045
2046 輪廻転生をせずに、この世にもあの世にも跡を残さず消えてしまう。
2047 それはきつととても悲しい事。
2048
2049 だからあの子に真実を告げて、来世への道を選んでもらうのが一番いいと思う。
2050
2051 来世のあの子は幸せになるかもしれない。
2052 今よりずっと長生きして、今よりずっと笑顔になるのかも知れない。
2053
2054 けど——それは来世のあの子であって今のあの子じゃない。
2055
2056 やっぱりこれは天使側の都合だ。そしてあの子にとっての不都合だよ。
2057
2058 何も知らない子供の魂を導くなんて。
2059 都合のいい言葉をならべて、魂を刈り取る死神と変わらない。
2060
2061 また子供の様子を見る。天使の役目を考える。子供の様子を見る。
2062
2063 悩んで悩んで、悩んだ。頭が沸騰するくらい悩んだ。
2064

しばらくして。私は決断をした。

天使の使命を全うすることを。

もしも私が役目を放棄したら、違う天使がやってくるだけ。

それなら私が責任を持ちたかった。ずっと見守ってきたから。

それが偽善であつても。私は私の使命を果たすことを選んだ。

それがあの子のためになると自分を偽って。

でも、やっぱり何も知らない子に、お為ごかしのような言葉で騙したくない。

だから名乗る。天使ではなく、死神と。

私は私の都合であの子の魂をもらい受けよう。

意を決して。白い翼を広げて翼を羽ばたかせる。

遠くに
いる
子供
のもと
へ
向かう。
白い
翼が
だん
だん
と
黒へ
と
染まる。

そして私はあの子供と出会う。

「……初めまして。私はセフィ、君の魂を貰いにきた死神よ」

End